

2017年

6月号

農林水産省
北海道農政事務所
北見地域拠点

ず～むあっぴ★ オホーツク

大空町東藻琴 芝桜公園

私たちにできる食育はないかな？

メンバーの“得意”を集めた手作り紙芝居！！

JAつべつフレッシュミズ（津別町）



JAの女性組織の中で若い世代を対象としているのが「フレッシュミズ(フレミズ)」です。「食」「農」「暮らし」について、様々な体験や学習の活動を行っています。JAつべつフレミズメンバーは現在11名。昨年、紙芝居「ころころたまねぎ おおきなあれ！！」を作成しました。これまでの活動のきっかけなどをメンバーの皆さんにインタビューしてみました！

手作り紙芝居を作ろうと思ったきっかけは？

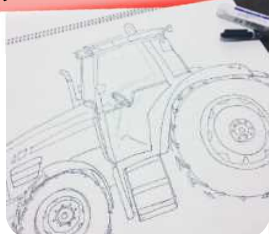
私たちフレミズメンバーは全員、非農家出身で、結婚を機に農業に関わることになりました。今まで知らなかった作物ができるまでの過程や、農作業に使用する機械の大きさにとっても驚き、子供たちや地域の人たちに知ってもらいたいと思いました。伝える機会として、農作業体験など食育の取組に声をかけていただいたのですが、子育て世代ということもあり、なかなか取組への参加やその準備の時間を作ることができず、「伝えたいのに時間を調整できないもどかしさ」というジレンマがありました。そんなとき、メンバーの中から、「紙芝居を作ろう」という提案があり、メンバー全員大賛成で作り始めました。



—インタビューの様子—

小さな子供さんと一緒に参加して下さったメンバーさんもいらっしゃいました

トラクターの迫力が伝わってきます！



—紙芝居の下書き—



1ページ1ページ
クレヨンで色をつけました

—みんなで集まって色塗り—

作成期間はどれくらいかかりましたか？

6名のたまねぎ栽培農家のメンバーを中心に紙芝居の絵の材料になる写真撮影をしました。その中で絵を描くのが得意なメンバーが9月くらいから下書きをして、農閑期に2日間メンバー全員で集まり、色塗りをしました。描くのに2カ月、写真撮影を含めると11カ月かかっています。

作成してみて良かった点はありますか？

作成をリードしてくれるメンバーがいたので、みんなで楽しく作ることができました。「紙芝居がある」ことで食育の取組に参加するにあたってのハードルが低くなったり、紙芝居を作ることでメンバー自身もたまねぎの栽培について詳しく知る機会になりました。

できあがった紙芝居の反響はいかがでしたか？

これまでJA青年部と合同での食育イベントや町内のこども園での読み聞かせを行いました。こども園の子供たちが、紙芝居を見た後の給食で玉ねぎばかり探して食べていたという話を聞いて、嬉しく思いました。これからも町内やJAでの食育の機会に読み聞かせしたいです。

これからの活動の展望を教えてください

これまでメンバーの交流をメインに取り組んでいましたが、今回のような紙芝居づくりなどの活動をとおして、家族やJAの組合員の皆さんにフレミズの取組も認めて頂けたらなあと思っています。

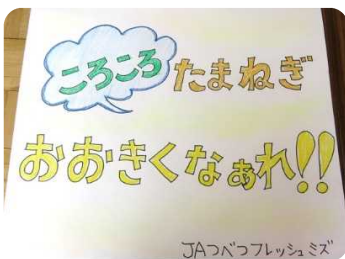
今年は砂糖ができるまでをテーマにてんさい栽培を紙芝居にする計画です。

—読み聞かせの様子—



子供たちから歓声や笑いが沸き起こります

紙芝居を少しご紹介！



農家のかあさん作だからこそその“気づき”ポイントがいっぱい



最後にはメンバーの似顔絵も！



－お話しをお聞きして－

フレミズメンバーの皆さんは子育てまっただ中、お話しの中からも忙しさを感じました。

こんなに忙しいと、何かをするとき、時間がとれないと消極的になったり、逆に無理をしてしまったりする場合がありますかと思いますが、「私たちにできること」を考えて取組されている姿がとても印象的でした。

また、前職は看護師や保健師、教員、保育士、調理師など様々だそうです。きっと、今回の紙芝居は、それぞれの特技と前職の経験が集まってできたものなんですね。

紙芝居第2弾ができあがるのを楽しみにしています！

オホーツクの水産資源を守る！

一般社団法人
北見管内さけ・ます増殖事業協会

北見管内さけ・ます増殖事業協会は、消費者へ水産物を安定供給するため、オホーツク海区において、さけ・ますの増殖事業の支援及び指導等を行っています。

オホーツク海に注ぐ一級河川常呂川では、置戸ふ化場と日吉ふ化場の2カ所で、昨秋、遡上したさけ・ますの種卵をふ化させ、5センチ余りに成長した稚魚(計1,700万匹)を放流しています。放流は河口付近の海水温が5度を超える5月上旬から行われ、稚魚は3～5年をかけ、遠くはアラスカ湾まで回遊、70～80センチほどの大きさになり、常呂川に帰ってきます。



日吉ふ化場(北見市常呂町)



小学生による放流の様子

海に囲まれた日本で、一番消費されている魚介類は、さけ・ます類だということを知っていますか？

しかし、国内のさけ・ます漁は不漁が続いており、最近では輸入品が多く食べられています。

ふ化場の方にお話を聞いたところ、「稚魚の飼育は気が抜けず大変な作業ですが、愛情を持って向き合うことが一番大切なことです」と我が子を見守るような優しい表情が印象的でした。

大きく、元気に帰ってくることを願います。



お知らせ

農業者向け事業の公募情報の配信を開始しました！

農林水産省経営局公式Facebookページ <https://www.facebook.com/nogyokeiei>

「農業経営者新時代ネットワーク」にアクセス！



編集後記

最高気温が30度を超える日があるかと思えば10度前後の日もあり、思わず暖房を入れた日もある(私だけ?)。寒暖の差が激すぎて体がついて行かない。皆さんも体調管理にはくれぐれもご注意を。(たけ)

編集：農林水産省北海道農政事務所 北見地域拠点
〒090-0018 北見市青葉町6-8 北見地方合同庁舎
TEL 0157-23-4171 FAX 0157-23-5358
北見地域拠点HP <http://www.maff.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>